

平成29年度ニュースリリース配信に伴い 長住協活動が業界誌面で紹介されました

日刊軽金属 平成29年6月1(木)

3月末現在の長期使用対応部材66品目、1年で9品目増

長期使用住宅部材標準化推進協議会（長住協）は5月25日、2017年3月末現在の長期使用対応部材（C j K部材）標準化品目が66品目となったことを明らかにした。2016年度にはアルミ・樹脂複合引違いサッシ用引手など9品目が標準化された。また、会員企業数は前年比6社増の78社（正会員29社、賛助会員49社）となっている。

2017年度は、C j K部材標準化70品目、会員企業数100社を目標に勧誘活動を実施するほか、C j Kマーク表示増によるC j K部材普及促進、業界団体やD I Y業界との連携継続・強化を図る。

軽金属通信 平成29年6月2日.(金)

長住協、C j K部材66品目、会員企業数78社
第5期目標（70品目、100社）に向け順調に推移

長期使用住宅部材標準化推進協議会（略称…長住協、伊久哲夫会長）は第5期（2018年度）目標として、長期使用対応（C j K）部材70品目、会員企業100社の方針を掲げ活動しているが、初年の16年度はC j K部材として9品目を標準化し、合計66品目となった。また、会員企業数は6社が入会し、78社（正会員29社、賛助会員49社）となった。

新登録のC j K部材の品目は、アルミ・樹脂複合引違いサッシ用引手、内部レバーハンドル、外部物干し金物（腰壁付け縦可動タイプ）、窓シャッター用操作ひも（繊維系）など。入会は、正会員ダイドー、賛助会員セブン工業、KV K、シブタニ、中尾製作所、アルメタックス。17年度は部材・部品の選定・標準化から、普及（流通）の推進へ向け、活動領域を広げていく。

平成29年度ニュースリリース配信に伴い 長住協活動が業界誌面で紹介されました

日本屋根経済新聞 平成29年6月18日(日)

CJK目標70品目
長住協
ハウスメーカーや建材メーカーらで構成される長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称・長住協、伊久哲夫会長、積水ハウス(株)副社長)は5月25日、東京の積水ハウスで定時総会を開いた。

新年度は①CJK部材の標準化を70品目に増やし、会員企業数100社を実現する②CJKマーク表示を促進して会員企業の採用率を増やし③JK部材を普及拡大する④住宅関連業界団体とDIY業界との連携強化による流通基盤づくりに取り組む。

平成28年度は、CJK部材として「樹脂製雨樋(たてどい丸型)」など9品目を標準化し、同部材は合計66品目となっている。またホームページでの基準書適合部材情報では「太陽光発電架台用PV支持材(F形棧がわら)」など、新たに8品目が掲載された。

サッシタイムス 平成29年6月21日(水)

第5期の進捗状況発表

CJK部材60品目に

長住協

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称・長住協、事務局は積水ハウス(株)内☎03-55575161)は、第5期(平成二十八年5月26日から平成三十年3月31日)の初年度となる平成

二八年度の活動実績、第5期目標の進捗状況を発表した。

CJK部材(長期使用対応部材)には、アルミ樹脂複合引き違いサッシ用引き手など9品目が新たに登録され、合計十六品目となった。

会員企業には正会員に(株)ダイトー、賛助会員にアルメタックス(株)、(株)シブタニ、(株)中尾製作所など五社の計六社が入会し、七十八社となった。

ホームページに掲載されている基準書適合部材には、サッシ網戸用モヘア、アルミ樹脂複合縦すべり出し窓用カムラッチハンドル、アルミ樹脂複合横すべり出し窓用カムラッチハンドル、アルミ樹脂複合上げ下げ窓用クレーセントなど八品目が追加され、計二十六品目が掲載された。

第五期目標として、長期使用対応部材の標準化七十品目、会員企業数百社、CJKマーク表示の促進と会員企業での採用率向上、住宅関連業界団体やDIY業界との連携強化による流通基盤づくりに取り組んでおり、平成二十九年度の事業計画では、標準化対象への絞り込み、標準化ニーズの確認、DIY・ホームセンターショウウへの出展などを行う。

平成29年度ニュースリリース配信に伴い 長住協活動が業界誌面で紹介されました

Housing Tribune 平成29年6月23日(金)

住宅関連部材の標準化を推進 CjK部材が66品目まで拡大

長期使用住宅部材標準化推進協議会

2017年3月末時点で、CjK部材が66品目まで拡大したことを公表した。同協議会では、長期使用対応への必要性などを踏まえながら住宅関連部材を選定し、標準化への基準書を策定。また、基準書に適合する部材をCjK部材として認定する取り組みを進めている。2016年度に新たに審査・承認・登録したCjK部材は、「内部レバーハンドル」「外部物干し金物(腰壁付)」「縦可動タイプ」「アルミ・樹脂複合引き違いサッシ用引手」「窓シャッター用操作紐(繊維系)」「樹脂製雨樋(たてどい丸型)」「食器洗い乾燥機(ビルトイン)」「タンク密結形便器(床排水)」「カーテンレール用ランナー」「カーテンレール用キャップストップ」の9品目であった。

また、企業会員数も増加しており、2017年3月末時

点で78社が加盟している。2016年度末に正会員としてダイドー、賛助会員としてセブン工業、KVK、シブタニ、中尾製作所、アルメタックスの計6社が新規入会した。同協議会では、引き続き、住宅関連業界団体やDIY業界との連携、基準書に適合する部材情報のHP掲載などを推進、CjK部材の認知度向上と普及拡大に取り組む方針。2018年3月末までにCjK部材の標準化を70品目、会員企業数を100社にまで増やす目標を掲げている。

日本物流新聞 平成29年6月25日(日)

長住協

CjK部材66品目、 会員78社に

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称:長住協)は、伊久哲夫会長は第5期(平成28年5月26日~平成30年3月31日)の目標と進捗状況について発表した。

第5期の目標と方針は、①長期使用対応部材の標準化70品目、会員企業100社に増やす、②CjKマーク表示促進と会員企業の採用率向上、③住宅関連業界団体並びにDIY業界との連携強化によ

る流通基盤づくりの3つ。初年度(平成28年度)はCjK部材として9品目を標準化し、合計66品目となった。会員企業数は新規に6社が入会し、全78社に増えた。

平成29年度も同方針を引き継ぎ、JAPAN DIYSHOW2017への出展やホームページでのCjK部材表示例の促進などを推進する。

平成29年度ニュースリリース配信に伴い 長住協活動が業界誌面で紹介されました

建材情報 平成29年7月7日(金)

◎長住協 CJK 部材 9 品目を選定 会員企業は 78 社に

長期使用住宅部材標準化推進協議会（略称：長住協）は、CJK 部材が 68 品目になったと発表した。同協議会は、住宅の長寿命化を目指して部材の交換をやすく、リサイクルしやすい部材を目指して、建材・住宅設部メーカーと住宅メーカーが一緒に取り組んでいる。基準書に適合した部材に CJK 部材として普及に取り組んでいる。

16 年度に CJK 部材として 9 品目を標準化し合計 66 品目となった。標準化した部材は、内部レバーハンドル、食器洗い乾燥機（ビルトイン）、外部物干し金物（腰壁付け縦可動タイプ）、タンク密結形便器（床排水）、アルミ・樹脂複合引き違いサッシ用引手、カーテンレール用ランナー、窓シャッター用操作紐（繊維系）、カーテンレール用キャップストップ、樹脂製雨樋（たてどい丸型）。

会員も新規に 6 社が入会、3 月末で 78 社となった。CJK マーク表示を促進し、CJK 部材の普及を目指す。18 年 3 月までに CJK 部材 70 品目、会員 100 社を目指している。

建材navi 平成29年7月7日(金)

長期使用住宅部材標準化推進協議会

CJK 部材 66 品目、会員企業 78 社
に増加、CJK マーク表示の促進、
会員の採用率を増やし普及を拡大

長期使用住宅部材標準化推進協議会（略称：長住協<CjK>、伊久哲夫会長）は、第5期（平成28年5月26日～30年3月31日）目標である①CjK70品目、会員企業100社に増やすこと、②CjKマーク表示の促進、会員企業の採用率を増やしCjK部材を普及拡大、③住宅関連業界団体、DIY業界との連携強化による流通基盤づくり——の達成に向けて順調に活動を展開している。28年度実績では、新たにCjK部材9品目を標準化して計66品目、新規6社入会し計78社に、それぞれ増加した。